

富津市地域公共交通計画
2025年度実施事業の評価
2026年度事業計画（案）

富津市地域公共交通会議
2026年5月26日

目次

富津市地域公共交通計画 2025年度実施事業の評価について	1
富津市地域公共交通計画 事業の進捗状況一覧	2
【事業1】市民の移動ニーズに対応した路線バスの再編	3
【事業2】地域間幹線系統（路線バス富津線）の維持	5
【事業3】JR内房線の利用促進	6
【事業4】タクシーの利用促進	7
【事業5】交通空白地有償運送の利用促進	8
【事業6】利用しやすい駅舎・車両（バス・タクシー）整備	10
【事業7】キャッシュレス化の推進	11
【事業8】東京湾フェリーの利用促進	12
【事業9】高速バスの利用促進	13
【事業10】地域と連携した地域特性等に即した移動手段の導入	14
【事業11】スクールバス等の既存ストックの活用（輸送資源の活用）	15
【事業12】運行情報提供の充実	16
【事業13】公共交通への移動手段の転換に関する負担軽減	17
【事業14】商業施設・観光施設等との連携サービスの導入	18
【事業15】市の公共交通の現状に対する理解を深める取組の実施	
①路線バスの乗り方教室の開催	19
②ワークショップの開催	20
③公共交通ニュースの発行	21
【事業16】運転手の確保策の実施	22

富津市地域公共交通計画 2025年度実施事業の評価について

1 概要

富津市地域公共交通計画のPDCAサイクルは、「富津市地域公共交通会議」において実施し、施策に係る全ての関係者が施策効果の検証結果を共有することとしていることから、2025年度実施事業の評価を行う。

2 2025年度実施事業の評価（年に1回実施）

（1）評価方法

各事業の実施主体が、取組や運行状況について、「利用者数」、「整備箇所数」、「導入台数」等の各目標値等を参考に、進捗状況を自己点検し、評価する。

（2）評価基準

評価	評価基準
A	計画どおりに事業が進展し、現行の取組継続により、目標の達成が見込める。
B	社会情勢の変化等により、一部に遅れがみられるものの、おおむね事業が進展し、現行の取組の強化、一部改善等により目標の達成が見込める。
C	一部事業が未実施又は遅れていることが顕著で、事業の改善が必要である。

■富津市地域公共交通計画 事業の進捗状況一覧

事業名	事業概要	実施主体								事業実施状況の評価(単年度)	2025年度実施状況(概要)	2026年度実施事業(概要)	
		交通事業者						その他関係者					
		富津市	千葉県	鉄道	フェリー	高速バス	路線バス		タクシー				地域
【1】市民の移動ニーズに対応した路線バスの再編	一部経路変更、バス停設置、ダイヤ見直し、循環バス可能性検討、登下校時間に合うダイヤ設定検討	○					○				C	・市内商業施設集中地域への接続経路見直し等に係る具体的検討のほか、市が負担金等を支出する5路線の再度の乗降調査に基づく再編協議を行うも、再編による運行実施には至らなかった。	・2027年度以降の路線の廃止・縮小、経路見直し等、再編に関する調整及び準備
【2】地域間幹線系統(路線バス富津線)の維持	ダイヤの見直し、路線情報の効果的発信	○					○			○	C	・改善基準告示の適用に伴うやむを得ない減便対応により、利用者が減少し、目標値達成が難しくなった。 ・「路線バス運賃検索ページ」を新たに公開し、情報発信を強化	・利用しやすいダイヤへの見直し検討 ・利便増進につながる情報発信の積極的実施
【3】JR内房線の利用促進	バスとの接続改善、企画切符販売、イベント開催	○	○	○							B	・関係者間での情報共有 ・JR等と連携した各種イベントの開催	・今後も継続実施
【4】タクシーの利用促進	タクシー運賃助成事業の継続実施	○								○	A	・タクシー運賃助成事業の制度周知及び利用促進	・継続的な制度周知による利用促進 ・利用動向を分析し、制度の在り方を検討
【5】交通空白地有償運送の利用促進	定期的な運行内容見直し、周知PRによる利用促進、課題整理、本格運行への移行に向けた取組	○								○	A	・運営及び運行を担う法人との継続的な協議等 ・通常の運行日以外の臨時運行の検討、実施 ・新たに開始した実証運行の本格運行への移行に向けた取組実施	・今後も継続実施
【6】利用しやすい駅舎・車両(バス・タクシー)整備	駅の運営手法研究 低床バス、UDタクシー導入	○		○			○	○	○	○	A	・青堀駅及び大貫駅の改札窓口営業時間短縮により、駅利用者の利便性が一部低下 ・低床バス計18台、UDタクシー計7台が市内で稼働	・駅係員不在時における駅利用方法等の分かりやすい周知 ・低床バス、UDタクシーの随時導入
【7】キャッシュレス化の推進	キャッシュレスシステムの導入推進									○	A	・市内の全バス路線で交通系ICカードを利用できることの利便性や更なる利用促進についてのPR実施	・今後も継続実施
【8】東京湾フェリーの利用促進	割引サービス、イベント実施 二次交通の改善	○			○					○	A	・小学生を対象とした「体験クルーズ」の実施 ・各種特別クルーズの企画運航 ・JR内房線を利用する房総観光ツアーの販売 ・カーシェアと連携したフェリーの利用促進	・各種企画クルーズの実施 ・小学生を対象とした体験クルーズの実施 ・JR内房線を利用する観光ツアーの実施
【9】高速バスの利用促進	周知PRによる利用促進 二次交通との連携 待合環境の改善	○				○				○	A	・各種周知媒体を通じた高速バス等の利用を促す周知PR	・今後も継続実施
【10】地域と連携した地域特性等に即した移動手段の導入	交通空白地域への移動手段導入	○								○	A	・交通空白地有償運送の実証事業に係る準備及び実証運行開始(金谷地区) ・地区区長会に対し地域に合った移動手段の導入事例等を改めて説明(佐貫地区)	・引き続き、新たな地域への導入支援の継続
【11】スクールバス等既存ストックの活用(輸送資源の活用)	混乗化、間合い利用、統合の検討	○								○	C	・スクールバスの空き時間を活用した地域でのコミュニティバスの実証運行を検討	・有効活用の検討について今後も継続実施
【12】運行情報提供の充実	公共交通マップの作成・配布 乗継案内等の掲示物の設置	○		○	○	○	○	○	○		A	・公共交通マップの修正、駅等への備付け・配布、市ホームページ等での周知PR ・市内鉄道駅に設置したバス・タクシー乗り場案内の更新	・今後も継続実施
【13】公共交通への移動手段の転換に関する負担軽減	運転免許証自主返納者への優遇措置PR、マイ時刻表作成	○		○	○	○	○	○		○	A	・【事業4】タクシー運賃助成事業と連携した制度PR ・「ノーカー・サポート優待証(日東交通)」の周知PR ・「マイ時刻表」の作成支援	・今後も継続実施
【14】商業施設・観光施設等との連携サービスの導入	割引サービス・企画切符等の導入 検討、おでかけモデルプラン作成	○								○	B	・商業施設とバス双方の利用を促進する企画の検討、実施 ・おでかけモデルプランを市ホームページで継続周知	・割引サービスや企画切符等のプラン実施、新企画の検討 ・おでかけモデルプランの更新・追加、市ホームページ等での周知
【15】市の公共交通の現状に対する理解を深める取組の実施	①路線バスの乗り方教室の開催	○								○	A	・路線バスの乗り方教室の開催(飯野小学校)	・今後も継続実施
	②ワークショップの開催	○								○	C	・いずれの地区においても開催しなかった。	・導入検討地区において、新たな移動手段を考えるワークショップを開催
	③公共交通ニュースの発行	○		○	○	○	○	○			A	・8回発行し、自治会回覧や市ホームページにて公表	・今後も継続実施
【16】運転手の確保策の実施	就職イベント開催 二種免許の取得支援	○									A	・バス・タクシー事業者への就職に特化した就職説明面接会をハローワーク等と連携して開催 ・市内バス・タクシー事業者に就職する従業員の第二種運転免許取得に要する教習費用を補助する制度の周知及び実施	・今後も継続実施

富津市地域公共交通計画 事業計画書（案）

【事業1】市民の移動ニーズに対応した路線バスの再編

- 商業施設、医療機関等への一部経路変更とバス停の新設検討
- 通院や買い物実態に即したダイヤの見直し、鉄道と路線バスとの接続向上
- 青堀駅を起終点とした循環バスの可能性検討
- 運行効率化の検討、ルートや運行頻度の見直し（利用者減少傾向の路線）
- 市内高校通学者への対応（通学経路の情報共有、登下校時間を考慮したダイヤ）

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
市民の移動ニーズに対応した路線バスの再編	路線バス事業者・富津市	再編内容検討	→	→			
		PR活動		→			
	路線バス事業者	運行実施（順次）		→	→	→	→
高校生の通学実態・ニーズに対応した路線バスの再編	路線バス事業者・富津市	再編内容検討	→	→			
	路線バス事業者	運行実施（順次）		→	→	→	→
	高校	協議・調整（再編）	→				
評価指標	年間バス利用者数（富津線以外）：策定時 62,000人⇒目標値 62,000人						

2025年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>（進捗状況）</p> <p><input type="checkbox"/> A</p> <p><input type="checkbox"/> B</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○一部路線の経路変更等を検討</p> <p>→市内の商業施設が集まる地域に接続するよう湊富津・笹毛線の経路見直し等を具体的に検討するとともに、令和8年2月に、市が負担金等を支出している5路線の乗降調査を再度実施し、最新の状況を踏まえた路線バス再編の協議を進めたが、再編による運行実施には至らなかった。</p> <p>（参考）市が負担金等を支出している5路線の令和7年度（令和6年10月～令和7年9月）の利用者数 51,907人</p> <p>○市内高校の生徒を対象に実施したアンケート調査結果に基づき、路線変更を含めた利便性の向上を検討</p> <p>→市が負担金等を支出している各路線の持続可能性も考慮しつつ、市内高校の生徒の利便性向上につながる方策を検討したが、再編による運行実施には至らなかった。</p>
---	--

2026年度実施事業

① 実施内容

運転手不足の問題に対応するとともに、利用者が特に少ない路線については、限られた人的・物的・財政的資源の中で運行効率化を進めるため、2027年度以降の路線の廃止・縮小、経路見直し等、再編に関する調整及び準備を行う。

他の交通機関のダイヤ改正との調整を行い、更なる接続向上を図る。

また、市内高校の生徒の通学利便性維持を図るとともに、市が負担金等を支出している路線の効率的運行を実施する。

【事業2】地域間幹線系統（路線バス富津線）の維持

- 関係事業者、沿線自治体と利用しやすいダイヤの見直し
- 路線情報（ダイヤ・運賃等）についての効果的な発信

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027	
地域間幹線系統（富津線）の維持	路線バス事業者	ダイヤの見直し	→					→
		路線情報の発信	→					→
	沿線自治体	協議調整、周知広報	→					→
		協議調整、周知広報	→					→
評価指標	年間バス利用者数（富津線）：策定時 147,000人⇒目標値 150,000人							

2025年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>（進捗状況）</p> <p><input type="checkbox"/> A</p> <p><input type="checkbox"/> B</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○関係事業者等と連携し、利用しやすいダイヤへの見直し検討</p> <p>→前年度に引き続き、生産性向上の取組として、事業者及び沿線自治体が目標達成のための各種事業を実施したが、バス運転者の労働時間等に関する改善基準告示の適用に伴うやむを得ない減便対応により、目標値の達成が難しくなった。</p> <p>（参考）路線バス富津線の利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度（令和5年10月～令和6年9月）：14万人 ・令和7年度（令和6年10月～令和7年9月）：13万3千人 <p>○路線情報についての効果的な発信</p> <p>→令和8年3月に、路線バス事業者のホームページ上で「路線バス運賃検索ページ」を新たに公開し、不特定多数の利用者に対する情報発信を強化できた。</p>
---	---

2026年度実施事業

① 実施内容

千葉県バス対策地域協議会を通じ、関係事業者、沿線自治体と連携し、地域間幹線系統確保維持計画に基づき、利用者の動向把握に努め、利用しやすいダイヤへの見直しを検討するとともに、4月から開始した「一般路線バスICカード乗継割引」のサービス等、利便増進につながる情報発信を市等と連携して積極的に行う。

② スケジュール

内容	年月	2026年										2027年							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
生産性向上の取組に係る進捗確認		→																	
運行計画作成																			
運行計画決定																			
運行開始に関する諸手続																			
利便増進につながる積極的情報発信		→																	

【事業3】JR内房線の利用促進

- 鉄道とバスとの接続改善（より需要が高い乗継パターンから優先して実施）
- 鉄道の利用促進企画（駅からハイキング、企画切符の周知など）、各種イベントの開催など

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027	
利用促進活動の実施	鉄道事業者	イベント企画・開催	→					→
	千葉県	イベント協力	→					→
	富津市	イベント企画・協力	→					→
評価指標	年間市内駅乗車人員：策定時 110 万人⇒目標値 110 万人							

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p><input type="checkbox"/> A</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B</p> <p><input type="checkbox"/> C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○関係者間での情報共有</p> <p>→鉄道の利用状況等について、市と鉄道事業者間で定期的な情報共有、意見交換を行った。</p> <p>○市及び関係団体と連携した利用促進活動の企画・開催</p> <p>→5月及び9月にそれぞれ1回ずつ「B. B. BASE 鹿野山」を開催し、2日間で186人が参加した。その際、竹岡駅にて富津市のノベルティグッズ及びふるさと納税のパフレット等を配布した。</p> <p>→10月に、市役所本庁舎で「JR君津駅社員による出張相談会」を開催し、希望者に対してモバイル Suica 等の利用開始に係るサポートを行い、デジタル技術活用による鉄道の利用促進を図った。</p> <p>→JR 東日本千葉支社と富津市観光協会の共催により、「駅からハイキング」として、11月に浜金谷駅からのハイキング（3日間、参加者 637 人）、12月に佐貫町駅からのハイキング（3日間、参加者 148 人）、1月に竹岡駅から上総湊駅までの間のハイキング（3日間、参加者 316 人）、計3コースを開催し、鉄道の利用促進を図った。</p> <p>（参考）2024年度の市内駅乗車人員 108万8千人</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

引き続き、関係者間で情報共有を図るとともに、利用促進活動について、市及び関係機関と連携し、イベントを企画・開催する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年												2027 年				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
定期的な情報共有（随時）		→																
利用促進企画（B. B. BASE イベント）			→				→											
利用促進企画（駅からハイキング）																		
利用促進企画（その他イベント）		→																

【事業4】タクシーの利用促進

○タクシー運賃助成事業の継続実施

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
タクシー運賃助成事業	富津市・ タクシー事業者	事業の継続実施					
評価指標	タクシー運賃助成制度登録者数：策定時 2,065 人⇒目標値 2,500 人						

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要 (進捗状況)	<p>○タクシー運賃助成事業の制度周知及び利用促進 →引き続き、広報ふつつや公共交通ニュース等により制度を周知し、利用を促進した。</p> <p>■ A □ B □ C</p> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要</p>
------------------	---

2026 年度実施事業

① 実施内容

引き続き、運転免許証を持たない高齢者等を対象に、1回のタクシー乗車につき1人1,000円分まで助成する「タクシー運賃助成事業」について、広報ふつつや公共交通ニュース等により周知し、タクシーの利用を促進する。

また、利用動向を分析するとともに、助成事業の利用方法や助成の範囲の改正を検討する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
タクシー運賃助成事業の申請受付		→															
登録証・利用券の交付		→															
制度周知		→															
利用動向分析																	
制度改正検討（必要に応じ随時）		→															
次年度利用券発行準備																	

【事業5】交通空白地有償運送の利用促進

○定期的な運行内容の見直しや周知広報による利用促進（ぷちバスわだち・峰タク）

○利用促進と課題整理、本格運行への移行に向けた取組（きんこくタクシー）

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
運行を通じた 運行内容の 見直し	NPO 法人わだち	運行内容見直し(随時)	→				
	NPO 法人 峰上交通	実証運行・課題整理	→				
		運行内容見直し(随時)		→			
	社会福祉法人 金谷温清会	実証運行・課題整理			→		
	富津市	協議調整	→				
評価指標	ぷちバスわだち年間利用者数：策定時 800 人⇒目標値 1,000 人 峰タク年間利用者数：計画改定時 674 人⇒目標値 800 人						

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要 (進捗状況) ■ A □ B □ C A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要	○事業者と共に必要に応じた運行内容の見直しを行い、より利便性の高い運行方法の検討（ぷちバスわだち・峰タク） →前年度に引き続き、通常の運行日以外の日（国政選挙の投票日等）の臨時運行を検討し、利便性の維持・向上を図った。 →2025 年 4 月から 2026 年 3 月までの 1 年間における延べ利用者数について、竹岡地区交通空白地有償運送（ぷちバスわだち）は前年度 1,078 人に対し 1,032 人で、前年度と比較すると若干の減少はあるものの目標値を上回る人数であり、峰上地区交通空白地有償運送（峰タク）は前年度 1,094 人に対し 1,211 人で、着実に増加した。 ○利用促進と課題整理、本格運行への移行に向けた取組（きんこくタクシー） →2025 年 12 月の実証運行開始前から、地域と連携して定期的・継続的に制度周知及び利用促進を図った結果、2026 年 3 月末時点での利用登録世帯数は 50 世帯、約 3 か月半の間における延べ利用者数は 64 人であり、更なる利用促進が必要である。
--	---

2026 年度実施事業

① 実施内容

竹岡地区交通空白地有償運送（ぷちバスわだち）及び峰上地区交通空白地有償運送（峰タク）については、引き続き、利用動向を注視しつつ、事業者と共に必要に応じた運行内容の見直しを行い、また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。

金谷地区交通空白地有償運送（きんこくタクシー）については、本格運行への移行に向け、利用動向の分析及び課題の整理を行うとともに、引き続き、制度の周知及び利用の促進を図る。

②スケジュール

内容	年月	2026年										2027年				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
周知広報による利用促進（共通）		→														
運行内容の見直し（共通・随時）		→														
国庫補助金認定申請・評価（わだち・峰タク）				→										→		
利用動向分析及び課題整理（きんこくタクシー）		→														
本格運行移行の検討・判断（きんこくタクシー）														→	→	
地域公共交通計画の変更手続（※本格運行への移行が決定した場合）															→	→

【事業6】利用しやすい駅舎・車両（バス・タクシー）整備

○駅の運営手法の研究

○利用しやすいバス・タクシー車両の導入

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027	
駅舎の機能向上	鉄道事業者	運営手法の研究	→					
	富津市	情報収集・協議	→					
利用しやすいバス・タクシー車両の導入	路線バス事業者	更新検討・順次導入	→					
	タクシー事業者	更新検討・順次導入	→					
評価指標	・駅舎の快適さ満足度：策定時 34.3%⇒目標値 40% ・バス車両のバリアフリー化率：策定時 33%⇒目標値 50% ・UD タクシー導入台数：策定時 3 台⇒目標値 5 台							

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要 （進捗状況） <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要	<p>○駅舎の機能向上</p> <p>→2026年2月から、青堀駅及び大貫駅の改札窓口営業時間を短縮したことにより、駅係員が直接対応する時間帯等が縮小し、駅利用者の利便性が一部低下した。</p> <p>○低床バス車両、UD タクシーの順次導入</p> <p>→富津営業所の所管するバス 34 台のうち、2 台をノンステップバスに更新した。（計 18 台）</p> <p>ユニバーサルデザインタクシー（以下「UD タクシー」という。）については、富津市を営業圏域とするタクシー会社において、これまでに計 7 台が配車されている。</p>
--	---

2026 年度実施事業

① 実施内容

市内駅における運営手法について、引き続き既導入事例等を参考に調査研究するとともに、特に駅係員が窓口対応できない時間帯における駅利用に関しては、乗降時の運賃支払方法や問合せ方法に係る利用者への分かりやすい周知に努め、利便性の維持を図る。

路線バス・タクシー事業者においては、引き続き、車両の更新時期等に合わせ低床バス車両、UD タクシーを順次導入する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市内駅における運営手法の研究等		→												
走行距離等に基づく車両の更新に伴う低床バス車両・UD タクシー導入		→												

【事業7】キャッシュレス化の推進

○市域内を運行する交通機関のキャッシュレスシステムの導入推進

※鉄道、フェリー、高速バス、路線バス2路線（富津線、イオンモール富津線）は導入済

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
キャッシュレス決済の導入推進	路線バス事業者	導入検討	→				
		順次導入			→		
評価指標	キャッシュレス決済導入率：策定時 42%⇒目標値 50%						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p>■ A</p> <p>□ B</p> <p>□ C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○市域内の各交通機関でキャッシュレスシステムを利用できることの利便性や更なる利用促進についてのPR実施</p> <p>→市内で運行する路線バスを含め全路線で交通系 IC カードが利用できるようになり、路線バス利用者の利便性が向上した。</p> <p>また、市のホームページや広報紙、公共交通ニュース等でもPRを実施した。</p>
---	---

2026 年度実施事業

①実施内容

4月から開始した「一般路線バス IC カード乗継割引」のサービス等、市域内を運行する各交通機関でキャッシュレスシステムを利用できることの利便性や、更なる利用促進について、引き続きPRを実施する。

②スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
キャッシュレスシステムの推進・PR		→												

【事業8】東京湾フェリーの利用促進

○割引サービス・イベントの開催 ○二次交通の改善

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
割引サービス・イベントの開催	フェリー事業者	イベント企画・開催	→	→	→	→	→
	富津市	協議・調整(企画)、協力	→	→	→	→	→
二次交通の改善	フェリー事業者	施設計画の検討	→	→	→	→	→
	バス事業者	ダイヤ調整の検討	→	→	→	→	→
評価指標	・商業施設等との連携による利用促進活動の導入件数：策定時 2 件⇒目標値 3 件以上 ・乗継のしやすさの市民の満足度：策定時 22.2%⇒目標値 25%						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p>■ A □ B □ C</p> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要</p>	<p>○小学生を対象とした「体験クルーズ」の実施</p> <p>→9月に「東京湾フェリー特別クルーズ(東京湾体験クルーズ)」を実施し、市内小学校5年生及び引率者、延べ約300人が参加し、子どもたちによる船の仕事体験のほか、鋸山、第二海堡等を船上から望みながらの地域学習を通して、富津の魅力再発見につながった。</p> <p>○東京湾周遊クルーズをはじめ各種特別クルーズの企画運航</p> <p>→5月及び10月に「東京湾周遊クルーズ」、9月及び3月に「横浜港クルーズ」をそれぞれ実施し、金谷港からの参加者を含めて延べ約1,500人の利用があり、フェリーの魅力向上につながった。</p> <p>○JR内房線を利用する房総観光ツアーの販売</p> <p>→1月に公共交通の利用促進を目的とした「水仙まつりツアー」を実施し、延べ約300人の利用があり、フェリーとJR内房線双方の利用促進に寄与した。</p> <p>○カーシェアと連携したフェリーの利用促進</p> <p>→金谷港におけるフェリー下船後の二次交通として設置したカーシェアステーションにおいて、2025年度の利用は約200件あり、徐々に増加傾向にある。</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

- ・各種企画クルーズの実施
- ・小学生を対象とした体験クルーズの実施
- ・JR内房線を利用する観光ツアーの実施

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
各種企画クルーズ		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
小学生を対象とした体験クルーズ								→						
JR内房線を利用する観光ツアー			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	

【事業9】高速バスの利用促進

- 周知広報活動による利用促進
- カーシェアリングとの連携（富津浅間山バスストップ）
- 待合環境の改善

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
周知広報	富津市	周知PR活動	■	■	■	■	■
	高速バス事業者	周知PR活動	■	■	■	■	■
二次交通の 利用促進	富津市	検討・調整	■	■	■	■	■
	カーシェアリング事業者など	検討・調整	■	■	■	■	■
		周知PR・実施	■	■	■	■	■
待合環境 の改善	富津市	協議・調整	■	■	■	■	■
	高速バス事業者	協議・調整	■	■	■	■	■
評価指標	・高速バスの利用者数：策定時 3万人⇒目標値 4万人 ・二次交通の導入件数：策定時 1件⇒目標値 1件						

2025年度実施事業の評価

事業結果概要 （進捗状況） <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要	○各種周知媒体を通じた高速バス等の利用を促す周知PR →ダイヤ改正等の情報を高速バス事業者と連携してタイムリーに発信し、高速バスの利用機会の提供に努め、各種周知媒体を通じてPRを行った。その結果、2025年度の利用者数は4万7千人となり、目標値の4万人を超えることができた。 また、引き続き、公共交通マップ、市及び交通事業者のホームページ等により、富津浅間山バスストップやカーシェアの利用を促す周知を実施した。
--	---

2026年度実施事業

① 実施内容

引き続き、市ホームページ、SNS、広報ふつつ、公共交通ニュース等を通じ、無料駐車場を活用したパークアンドライドを含め高速バス等の利用を促す周知PRを行う。

また、富津浅間山バスストップの二次交通としてカーシェアを活用した利用促進策を検討する。

② スケジュール

内容	年月	2026年										2027年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
高速バス等の利用を促す周知PR		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
カーシェアと連携した利用促進		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
待合環境改善検討		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

【事業 10】地域と連携した地域特性等に即した移動手段の導入

- 交通空白地域又はこれに準ずる地域におけるコミュニティバス、乗合タクシー、デマンド型交通などの運行（交通事業者に委託）及び自家用車有償運送の導入
- 運行効率化に資する情報技術の活用可能性の検討

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027	
地域と連携した地域特性等に即した移動手段の導入	富津市	下記地域活動の支援	→					
		導入基準改訂(随時)	→					
		補助金交付	→					
	地域	組織づくり、地域の実情等に即した移動手段・内容の検討	→					
		運行計画決定・実施	→					
	路線バス・タクシー事業者	協議・調整	→					
		運行実施	→					
評価指標	地域と連携した地域特性等に即した移動手段の確保数：策定時 3 件⇒目標値 4 件							

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p>■ A</p> <p>□ B</p> <p>□ C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○新たな移動手段の導入について地域から相談があった場合の支援</p> <p>→金谷地区では、4月以降、市と実施主体で協議・調整を重ね、運営及び運行の体制を整備し、10月には、地域検討会議を経て、富津市地域公共交通会議で実証運行計画（案）等が承認され、11月の実証運行説明会を踏まえ、地区区長会、民生委員及びふれあい推進員と協力して事業の周知及び利用者の募集を行い、12月から実証運行を開始した。</p> <p>佐貫地区では、2026年2月、地区区長会に対し、市内及び近隣市の導入事例を交えた地域に即した移動手段の検討に係る説明を改めて行い、今後も継続的に検討し、一定の方向性を決めていくこととした。</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

佐貫地区については、新たな移動手段の導入に関し、継続して協議し、検討する。

また、引き続き、新たな地域から相談があった場合は、制度概要やニーズ調査の手法などの情報提供を行い、検討の初期段階から支援する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域団体の募集（随時）		→												
地域団体との協議（随時）		→												
補助金申請（随時）		→												

【事業 11】スクールバス等の既存ストックの活用（輸送資源の活用）

- スクールバスの活用方法（混乗化、間合い利用、統合）の検討
- 民間企業等が保有する様々な輸送資源の活用可能性検討

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
スクールバス等の有効活用	富津市	協議・調整（有効活用）	→	→			
	スクールバス等 運行事業者	協議・調整	→	→			
		運行実施			→	→	→
評価指標	地域と連携した地域特性等に即した移動手段の確保数：策定時 3 件⇒目標値 4 件（再掲）						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>（進捗状況）</p> <p><input type="checkbox"/> A</p> <p><input type="checkbox"/> B</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○交通空白地等における新たな移動手段としてスクールバスの有効活用の検討</p> <p>→引き続きスクールバスの空き時間を活用した地域でのコミュニティバスの実証運行を検討したが、登下校等の基本運行以外の時間帯であっても、学校行事等による特別便運行への対応の必要性から、安定した運行スケジュールの確保が難しく、また現状、金谷地区以外では市の公共交通網に大きな変更がないことから、佐貫地区や金谷地区のアンケート調査で明らかになったように、小型車両や乗合タクシーでのドア・ツー・ドアによる運行がより求められているという傾向に変化はないと考えられる。</p>
---	---

2026 年度実施事業

① 実施内容

【事業 10】と関連し、地域にとって必要な移動手段を研究する中で、引き続き、交通空白地又はこれに準ずる地域における新たな移動手段として、スクールバスを有効活用する可能性を探り、教育委員会と調整を図りつつ、必要に応じスクールバス運行事業者と共に検討を進める。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域団体との協議検討【事業 10】		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
教育委員会との調整		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
スクールバス運行事業者との協議		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	

【事業 12】運行情報提供の充実

○公共交通総合マップの作成・配布

○駅等の交通結節点における各交通機関の乗継案内

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
公共交通総合マップの作成・配布	富津市	情報検討、マップ作成・配布	→				
		周知 PR（継続実施）		→	→	→	→
	交通事業者	協議・調整	→				
掲示物の設置	富津市	随時更新	→	→	→	→	→
評価指標	公共交通総合マップの配布数：目標値延 10,000 部						

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要	○公共交通マップの修正、駅等への備付け、市ホームページでの周知 PR
(進捗状況)	→市内路線バスの時刻表等の運行情報をスマートフォンなどで閲覧できる二次元コードを新たに印字して、公共交通マップ修正版を 3,000 部作成し、市内の公共施設、各駅、商業施設等に備え付けた。また、富津警察署では、運転免許証の自主返納者などに配布を行った。
■ A	
□ B	
□ C	
A：計画どおり	(参考)
B：おおむね計画どおり	公共交通マップの配布数（2023 年度以降） 累計 7,686 部
C：改善が必要	2018 年度 19,300 部 2019 年度 480 部 2020 年度 2,925 部
	2021 年度 2,795 部 2022 年度 2,820 部 2023 年度 2,500 部
	2024 年度 2,572 部 2025 年度 2,614 部
	○市内鉄道駅に設置している二次交通機関の案内の更新
	→路線バスのダイヤ改正等に伴い、市内 JR 駅内に設置している「駅に接続する交通機関のご案内」を更新し、設置した。

2026 年度実施事業

① 実施内容

公共交通マップ修正版について、市内路線バスの時刻表や運賃、各駅の時刻表等の情報もスマートフォン等で閲覧できる二次元コードを印字し、市内公共施設や各駅等に備え付けるなど、利用者が最新情報を確認できるようにする。

駅等の交通結節点におけるバス・タクシーなど二次交通に係る乗換案内表示を引き続き掲示し、ダイヤ改正等に合わせて随時更新する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年												2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
市ホームページ等での周知 PR		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
要修正項目の確認										→	→					
修正したマップの作成・配布準備											→	→	→			
施設等で配布																→

【事業 13】公共交通への移動手段の転換に関する負担軽減

- 高齢者運転免許証自主返納者への優遇措置に対する周知 PR
- マイ時刻表の作成支援
- 新たな移動手段とバス路線の連携促進

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
運転免許証自主返納者に対する負担軽減	富津市	周知 PR	—————▶				
	交通事業者	協議・調整、実施	—————▶				
	富津警察署	自主返納者への案内	—————▶				
マイ時刻表の作成	富津市	マイ時刻表作成(随時)	—————▶				
評価指標	運転免許証の自主返納件数：策定時 188 件⇒目標値 200 件						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p>■ A</p> <p>□ B</p> <p>□ C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○【事業 4】タクシーの利用促進と関連し、運転免許証自主返納者に向けたタクシー運賃助成事業の PR</p> <p>→市のホームページや広報紙、公共交通ニュース等の周知媒体のほか、富津警察署とも連携し、運転免許証自主返納者に向けたタクシー運賃助成制度の PR を実施した。</p> <p>なお、2025 年の運転免許証の自主返納件数は 189 件あった。</p> <p>○「ノーカー・サポート優待証（日東交通）」の PR</p> <p>→市のホームページや公共交通マップ、公共交通ニュース等の周知媒体によるほか、タクシー運賃助成制度の利用登録申請者に対する直接説明により、日東交通株式会社が発行する「ノーカー・サポート優待証」の PR を実施した。</p> <p>なお、2025 年度は、同社全体で 791 件（新規 342 件、継続 449 件）発行し、そのうち富津市民は 51 件（新規 29 件、継続 22 件）発行した。</p> <p>○「マイ時刻表」の作成支援</p> <p>→申込者の移動ニーズに合わせて、利用したいバス停留所、駅、時刻等を記載した「マイ時刻表」の作成支援を行い、2 人の申込者に対し、5 件の作成を行った。</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

引き続き、富津警察署とも連携し、運転免許証自主返納者に対してタクシー運賃助成事業や路線バス事業者が行う優遇措置等を PR する。

また、「マイ時刻表」の作成支援を行うとともに、市広報紙等で周知を図る。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
タクシー運賃助成事業等の PR		—————▶												
マイ時刻表の作成支援		—————▶												
マイ時刻表の周知		—————▶												

【事業 14】商業施設・観光施設等との連携サービスの導入

○割引サービス・企画切符等の導入検討

○おでかけモデルプランの作成

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
割引サービス・企画切符等の導入	路線バス事業者・企業	企画内容検討	→	→			
		実施			→	→	→
	観光協会	周知 PR			→	→	→
おでかけモデルプランの作成	富津市・観光協会	プラン検討、作成	→				
		周知 PR		→	→	→	→
評価指標	商業施設等との連携による利用促進活動の導入件数（再掲） ：計画策定時 2 件⇒目標値 3 件以上						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p><input type="checkbox"/> A</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B</p> <p><input type="checkbox"/> C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○割引サービス・企画切符等の検討</p> <p>→市内の飲食施設等とも連携した「第二海堡上陸クルーズと富津射場見学ツアー」や、空港等に直接アクセスする「マザー牧場等を巡る貸切バスプラン」等を企画して実施し、商業施設とバス双方の利用促進を図った。</p> <p>○おでかけモデルプランを更新・追加</p> <p>→従来の「富津市おでかけモデルプラン」は、引き続き市ホームページで周知・公表を継続したが、新たなおでかけモデルプランは、夏の移動を想定して作成していたが完成せず、公表できなかった。</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

引き続き、観光施設及び商業施設と連携した割引サービスや企画切符等のプランを実施するとともに、新たな企画を検討する。

観光協会と連携し、公共交通を使ったおでかけモデルプランを更新・追加し、市ホームページ等で周知する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
割引サービス・企画切符等の実施		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
新たな企画の検討		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
交通機関・各施設の企画券内容調整		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
おでかけモデルプランの更新・追加		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
おでかけモデルプランの公表・周知										→	→	→	→	→

【事業 15-①】市の公共交通の現状に対する理解を深める取組の実施

○路線バスの乗り方教室の開催（小・中学生、高齢者）

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
路線バスの乗り方教室の開催	富津市・ 路線バス事業者	企画内容検討・調整	→				
		実施	→	→	→	→	→
	地域	参加	→	→	→	→	→
評価指標	路線バスの乗り方教室参加者数：目標値延 150 人						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要</p> <p>(進捗状況)</p> <p>■ A</p> <p>□ B</p> <p>□ C</p> <p>A：計画どおり</p> <p>B：おおむね計画どおり</p> <p>C：改善が必要</p>	<p>○小学生を対象にした路線バスの乗り方教室の開催</p> <p>→2025 年 11 月に飯野小学校の 3・4 年生児童を対象とし、路線バスの実車を用いてバスの乗車体験等を行うとともに、富津市の公共交通に関する基本的な内容の学習を行い、路線バスその他の公共交通の積極的利用に対する意識の醸成を図った。</p> <p>(参考)</p> <p>路線バスの乗り方教室参加者数（2023 年度以降） 累計 153 人</p> <p>2018 年度 43 人（竹岡小）、2019 年度 62 人（佐貫小）</p> <p>2021 年度 46 人（富津小）、2023 年度 40 人（環小）</p> <p>2024 年度 64 人（大貫小）、2025 年度 49 人（飯野小）</p>
---	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

前年度に引き続き、市内小学校の児童を対象に、路線バスの実車を用いたバスの乗車体験等を行うとともに、富津市の公共交通に関する基本的な内容の学習を行う。

② スケジュール

内容	年月	2026 年												2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
実施場所・日程の調整		→	→	→	→	→										
教室の内容検討・当日資料案作成							→	→								
教室の内容の調整・決定								→								
教室の実施									→							

【事業 15-②】市の公共交通の現状に対する理解を深める取組の実施

○ワークショップの開催

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
ワークショップの開催	富津市	ワークショップ開催	→				
	地域	参加	→				
評価指標	ワークショップの参加者数：目標値延 100 人						

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要 (進捗状況) <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要	○地域住民主体による地域特性等に即した移動手段の確保に向けたワークショップの開催 →2025 年度は、いずれの地域においても、グループワーク等の実施に係る相談はなく、ワークショップの開催には至らなかった。 (参考) ワークショップの参加者数 (2023 年度以降) 累計 17 人 2018 年度 20 人 (2 回)、2020 年度 20 人 (1 回) 2021 年度 31 人 (2 回)、2022 年度 0 人 (0 回) 2023 年度 0 人 (0 回)、2024 年度 17 人 (1 回) 2025 年度 0 人 (0 回)
---	---

2026 年度実施事業

①実施内容

【事業 10】と関連し、必要に応じて市からも働きかけを行い、地域住民主体による地域特性等に即した移動手段の確保に向けたワークショップを開催する。

②スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実施場所・日程調整					→									
WS 内容検討・資料案作成						→								
随時実施 (1～2 回程度)										→				
WS 参加者アンケート実施・分析											→			

【事業 15-③】市の公共交通の現状に対する理解を深める取組の実施

○公共交通ニュースの発行

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027	
公共交通 ニュースの発行	富津市	作成、周知	→					→
	交通事業者	情報提供等の協力	→					→
評価指標	公共交通ニュース発行数：目標値延 40,000 部							

2025 年度実施事業の評価

事業結果概要	○各種公共交通に関する情報を掲載した公共交通ニュースの発行を通じた情報発信
(進捗状況)	→公共交通ニュースを8回発行し、自治会回覧や市ホームページへの掲載を通じ、各種公共交通に関する情報発信を実施した。
■ A	
□ B	
□ C	(参考)
	公共交通ニュースの発行数(2023年度以降) 累計 41,186 部
A: 計画どおり	2018年度 5回 9,735部、2019年度 5回 9,610部
B: おおむね計画どおり	2020年度 7回 13,629部、2021年度 7回 13,671部
	2022年度 7回 14,392部、2023年度 9回 16,478部
C: 改善が必要	2024年度 6回 8,341部、2025年度 8回 16,367部

2026 年度実施事業

① 実施内容

引き続き、公共交通に関する情報を掲載した公共交通ニュースを随時発行し、自治会回覧や市ホームページ等により情報を発信する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
原稿の作成		→												
回覧及び市ホームページ掲載		→												

【事業 16】運転手の確保策の実施

- バス・タクシー運転手等を対象とした就職イベントの開催
- 従業員の二種免許取得費用に関する補助制度の検討

■実施主体とスケジュール

事業	実施主体	実施項目	2023	2024	2025	2026	2027
バス・タクシー運転手の確保策の実施・運転手就職イベント開催等	路線バス・タクシー事業者	協議・調整	→				
		就職イベント等参加	→				
	ハローワーク	→					
	富津市	就職イベント企画調整	→				
二種免許の取得支援	富津市	制度設計	→				
		実施		→			
評価指標	運転手等確保策の実施回数：目標値延4回						

2025 年度実施事業の評価

<p>事業結果概要 (進捗状況)</p> <p>■ A □ B □ C</p> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：改善が必要</p>	<p>○ハローワーク、交通事業者、隣接自治体と連携した運転手を確保するための就職イベントの開催</p> <p>→2025年9月に、市内の商業施設にて、富津市及び君津市内で運行するバス・タクシー事業者への就職に特化した「運転のお仕事説明面接会」を開催し、5社が参加した。求職者17人が会場を訪れ、延べ面談件数30件のうち、採用者は5人であり、運転手の確保につながった。参加事業者からは、引き続き実施を望む意見が多い。</p> <p>○第二種運転免許取得支援補助金制度の再周知</p> <p>→市内公共交通事業者の人材確保等を支援し、市内公共交通網の維持発展を図るために制定した「富津市第二種運転免許取得支援補助金交付要綱」に基づく補助金交付制度について、2025年度は1事業者（1人分）に対する補助を実施し、運転手の確保につながった。</p>
--	--

2026 年度実施事業

① 実施内容

市内公共交通を担う人材を確保するため、ハローワーク、交通事業者、隣接市等と連携した就職イベントを開催する。

また、第二種運転免許取得支援の補助金制度を市内公共交通事業者に対して改めて周知し、更なる人材確保等につながるよう制度活用を推進する。

② スケジュール

内容	年月	2026 年										2027 年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新聞等広告媒体での求人掲載		→												
就職イベントに関する関係者調整		→												
就職イベントの実施							→							
二種免許取得支援制度の周知・推進		→												